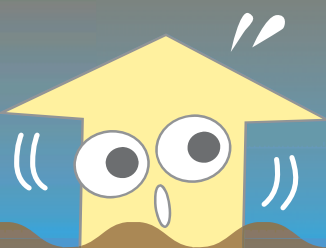


液状化の被害から住宅を守るために知っておきたい知識や備え



静岡県暮らし・環境部

住まいの 液状化対策



静岡県

Shizuoka
Prefecture

液状化現象

って何？



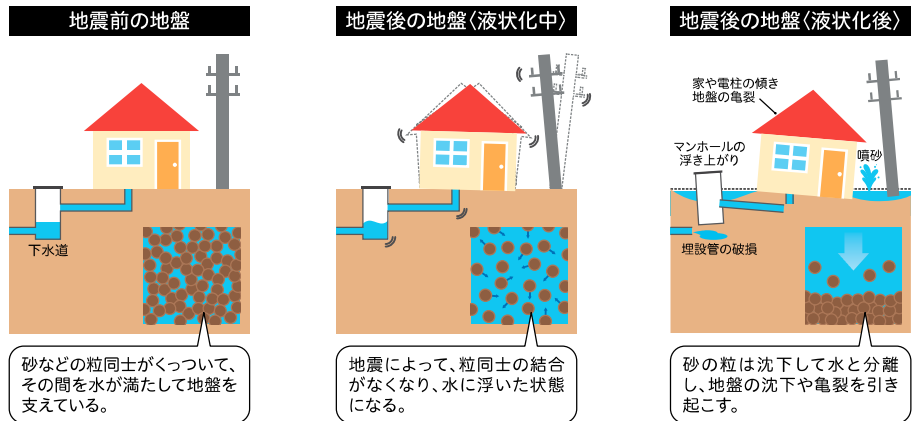
東日本大震災では9都県の住宅約2万7千棟が被害を受けました。

世界の液状化現象に関する研究は1964年の新潟地震をきっかけに始められました。したがって、それ以前の建物の多くは液状化の影響が考慮されていないと考えられます。

地震の揺れで、地盤が液体状になることです。

通常は、砂粒同士がくっついて強度を保っていますが、地震の揺れによって、地中の地下水の圧力が高くなり、砂粒の結合がバラバラになって地下水に浮いた状態（液状化）になります。

液状化によって、水より比重の重い建物や道路が沈んだり傾いたりするだけでなく、比重の軽い水道管やマンホールが浮き上がり破損して、ライフラインに大きな影響が出ます。また、少しでも住宅が傾くと平衡感覚がおかしくなり、住み続けることが困難とも言われています。住宅を元に戻す修復工事の期間中は、住宅に住めなくなる可能性もあります。



液状化現象が 起こりやすい 場所は？



静岡県は、南アルプスや富士山を背後に持つため、国内有数の急流河川が南北に流れています。

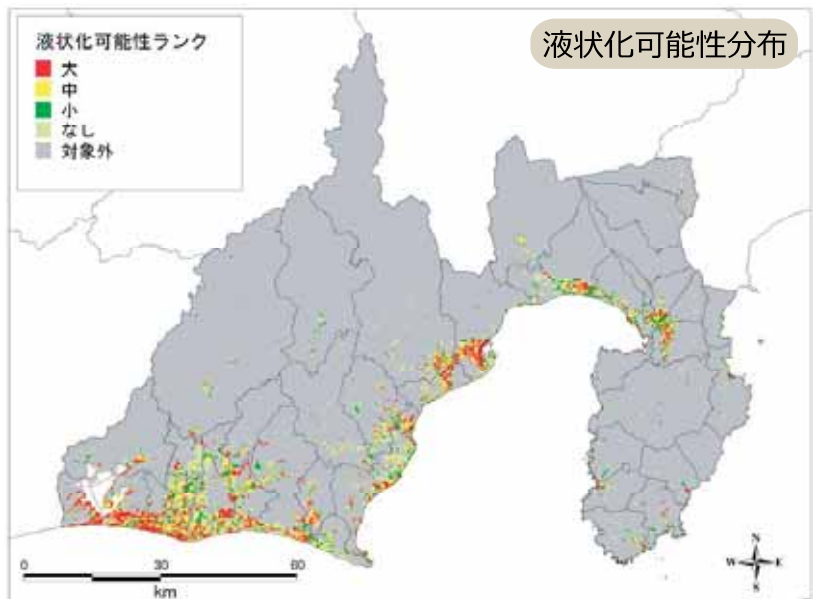
かつて川や海であった場所が市街化されている場合、一般的に液状化現象が発生しやすい3つの要因が存在する可能性が高いとされています。

地震被害想定で液状化可能性ランクが高い地域の方は、より詳細な情報を確認し、液状化現象に対する備えが必要です。

液状化現象を引き起こす3つの要因があります。

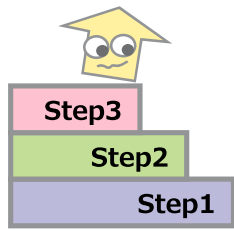
- ①地下水位が高い
- ②締め固まっていない砂質層がある
- ③砂質層が地下20mより浅い位置に存在する

地震に対し住宅の耐震性を高めることはもちろんですが、液状化現象が起こる要因をもつ地盤であるかを確認し、液状化現象に備える必要があります。



静岡県第4次地震被害想定（南海トラフ巨大地震 基本ケース）

住まいを液状化から守る 3つのステップ



Step1

液状化の危険性があるか調べる

ご自身で簡単にできる調査で、危険性があるかを調べましょう

① ホームページで調べる

→詳しくは P3 へ

大規模な災害時の液状化危険度、ハザードマップ、過去の地形図、地盤調査の結果等、ホームページで調べることができます。

② 図書室等で調べる

大規模な災害時の液状化危険度、ハザードマップ、過去の地形図、地盤調査の結果等を、本や図面で調べることができます。

③ 地元に永く住む人に話を聞く

地元には、その土地の歴史をよく知っている方がいらっしゃいます。世間話をしながら情報収集すると、地元の人しか知らないような過去の災害等について知ることもできるかもしれません。



液状化の危険性がある場合は

Step2

地盤の状況を詳しく調べる

専門家と相談しながら地盤調査を行い、液状化対策の必要性を調べましょう

地盤を調査する

→詳しくは P4 へ

実際にお住まいの建築を検討している土地、あるいは既にお住まいの土地において地盤調査を行い、地盤が液状化しやすいかを調べます。専門家と相談しながら調べましょう。



対策が必要な場所だと判断された場合は

Step3

対策工法を選んで、液状化対策をする

専門家と相談しながら、その土地に合った対策をしましょう

液状化対策をする

→詳しくは P5 へ

液状化対策の工法は様々です。専門家と相談しながら、その土地に合った工法を、予算等を十分考慮して実施しましょう。

Step1 液状化の危険性があるか調べる

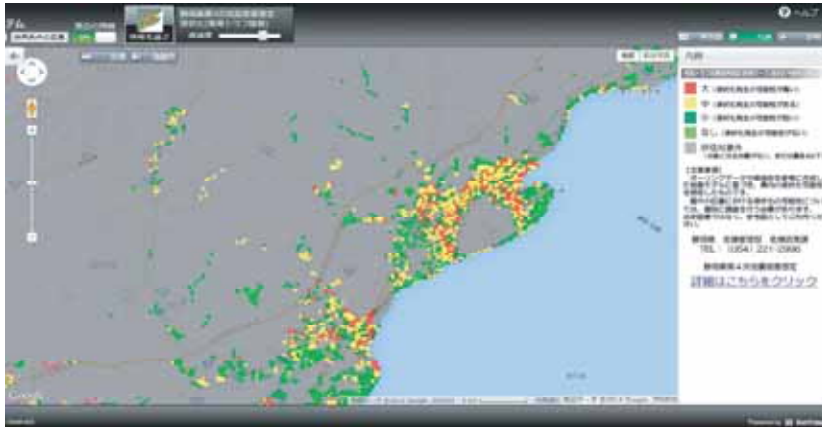


ホームページで調べる

静岡県のホームページ

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/>

静岡県が公表している第4次被害想定（南海トラフ地震）、表層地質図、地質調査結果などのGIS情報や、関連資料をご覧ください。



静岡県第4次地震被害想定 （液状化）

南海トラフ地震を想定した「静岡県第4次地震被害想定（第1次報告）」の液状化可能性分布を250mメッシュで、5段階（大、中、小、なし、評価対象外）表示しています。



静岡地質情報マップ

液状化現象が起こりやすいと言われる砂の層が存在する地質であるか、表層地質図や県が実施したボーリング調査の結果を見て判断の参考にすることができます。

市町のホームページ

市町のホームページには、洪水や土砂災害に対する防災情報とともに、液状化現象に関する情報が掲載されています。また、国や県の関係するサイトへのリンクが貼られています。市町のホームページをご覧ください、必要に応じて担当窓口にお問合せいただくのも一つの方法です。

液状化に関するハザードマップ等インターネット公開市町

下田市、西伊豆町、沼津市、三島市、富士市、伊豆市、伊豆の国市、清水町、静岡市、藤枝市、吉田町、浜松市、磐田市、掛川市、袋井市

※上記一覧表は、市町のホームページ（平成26年11月現在）を確認して作成しました。